

主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値*）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データをもとに、「日本・アジア／米国間のコンテナ貨物の荷動き動向」を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

主要航路の荷動きのポイント

北米航路 往航（2022年7月）1,931,165TEU（6.4%増）（2021年7月：1,814,437TEU）

・《中国積みが前年同月比12.2%増、ASEAN積みは微減》

復航（2022年5月）519,184TEU（6.4%減）（2021年5月：554,625TEU）

- ◆ 北米往航（アジアから米国）は、前年比6.4%増で7か月連続のプラス。
2022年7月の北米往航運賃指数は、前年比25.4%減の9,280ドル/40ftで2か月連続のマイナス。
- ◆ 北米復航（米国からアジア）は、前年比6.4%減で12か月連続のマイナス。
2022年7月の北米復航運賃指数は、前年比1.7%増の1,821ドル/40ftで2か月ぶりのプラス。

欧州航路 往航（2022年6月）1,329,626TEU（9.7%減）（2021年6月：1,472,858TEU）

・《22年上半期累計は、前年同期比4.7%減となる799.5万TEU》

復航（2022年6月）515,506TEU（21.9%減）（2021年6月：660,281TEU）

・《22年上半期累計は、前年同期比15.7%減となる340.1万TEU》

- ◆ 欧州往航（アジアから欧州）は、前年比9.7%減で5か月連続のマイナス。
2022年7月の欧州往航運賃指数は、前年比25.0%減の9,821ドル/40ftで2か月連続のマイナス。
- ◆ 欧州復航（欧州からアジア）は、前年比21.9%減で12か月連続のマイナス。
2022年7月の欧州復航運賃指数は、前年比8.8%減の2,229ドル/40ftで3か月連続のマイナス。

日中航路 往航（2022年6月）759,447トン（8.0%減）（2021年6月：825,270トン）

・《22年上半期累計は、前年同期比8.1%減となる433.7万トン》

復航（2022年6月）2,034,691トン（9.0%増）（2021年6月：1,866,123トン）

・《22年上半期累計は、前年同期比0.7%増となる1084.1万トン》

- ◆ 日中往航（日本から中国）は、前年比8.0%減で4か月連続のマイナス。
金額ベースでは、前年比2.4%増の8,715億円で5か月連続のプラス。
2022年7月の横浜-上海間の運賃は、前年比10.0%減の810ドル/40ftで7か月連続のマイナス。
- ◆ 日中復航（中国から日本）は、前年比9.0%増で2か月連続のプラス。
金額ベースでは、前年比37.4%増の1兆5,852億円で2か月連続のプラス。
2022年7月の上海-横浜間の運賃は、前年比14.9%増の1,930ドル/40ftで21か月連続のプラス。

アジア域内航路 （2022年6月）4,388,168TEU（7.8%増）（2021年6月：4,070,084TEU）

・《22年上半期累計は、前年同期比1.2%増となる2,318.1万TEU》

- ◆ アジア域内航路は、前年比7.8%増の438.8万TEUで4か月ぶりのプラス。
2022年7月のアジア域内コンテナ運賃指数は、前年比16.8%増の1,742ドル/40ftで24か月連続のプラス。

*速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

*日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

*運賃指数はDrewry, *Container Freight Rate Insight*に基づく

図-1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移（単位：TEU）

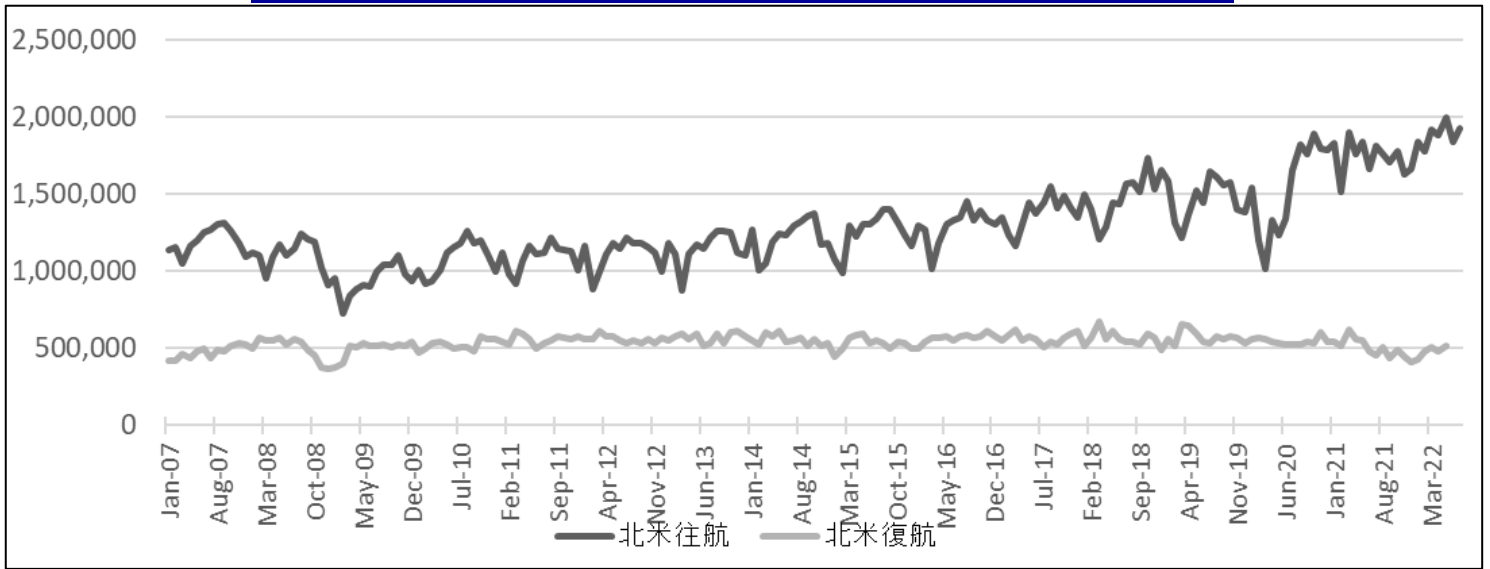


図-2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移（単位：TEU）

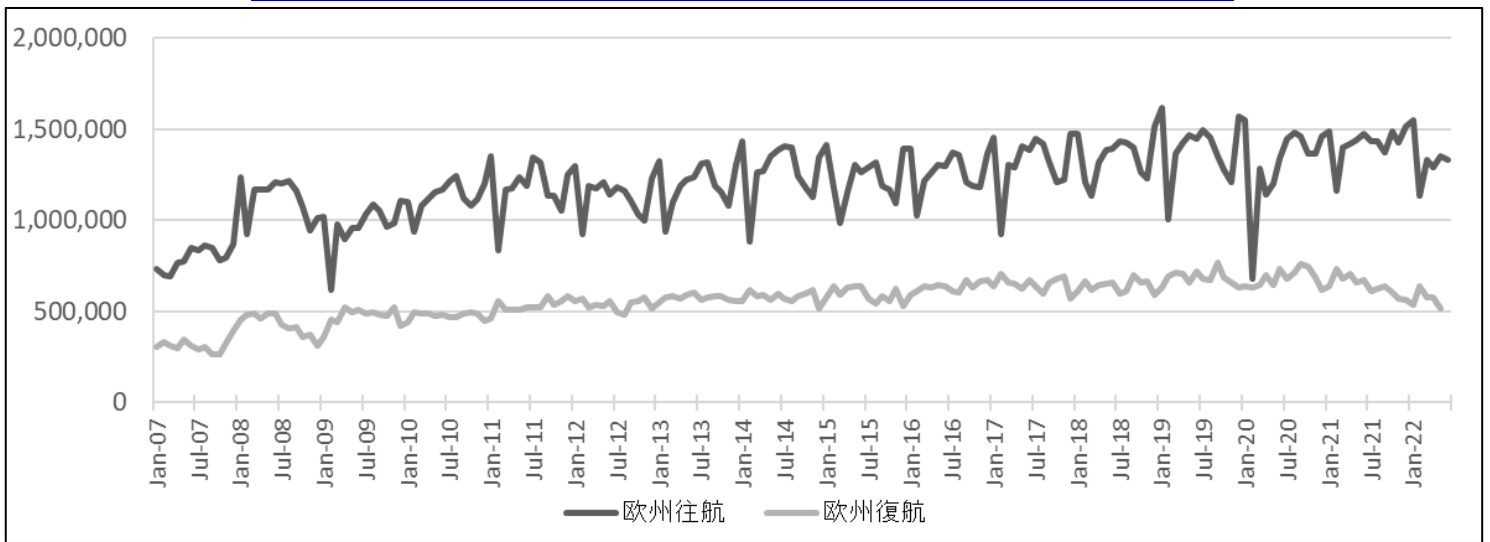
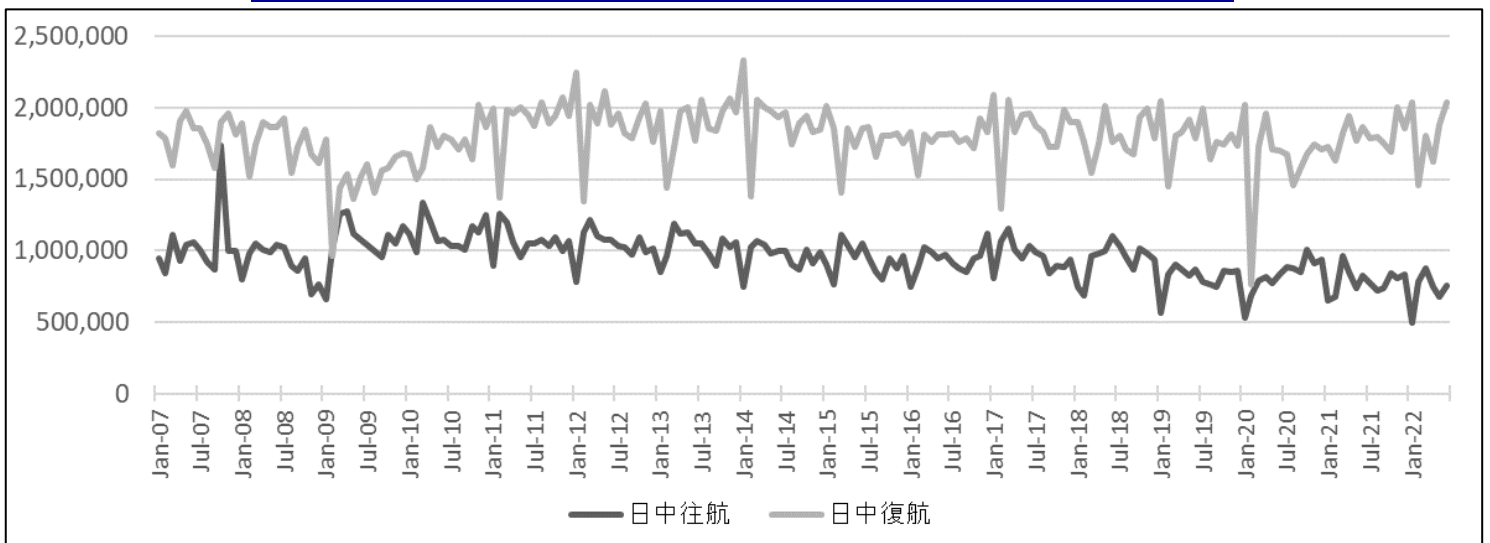
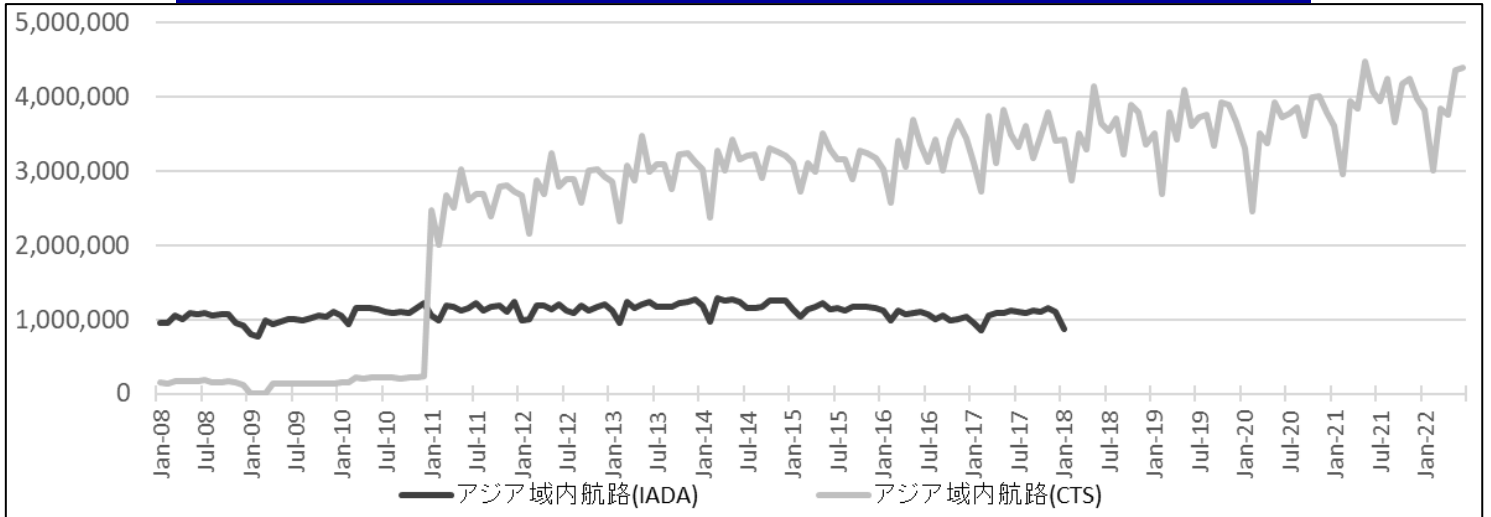


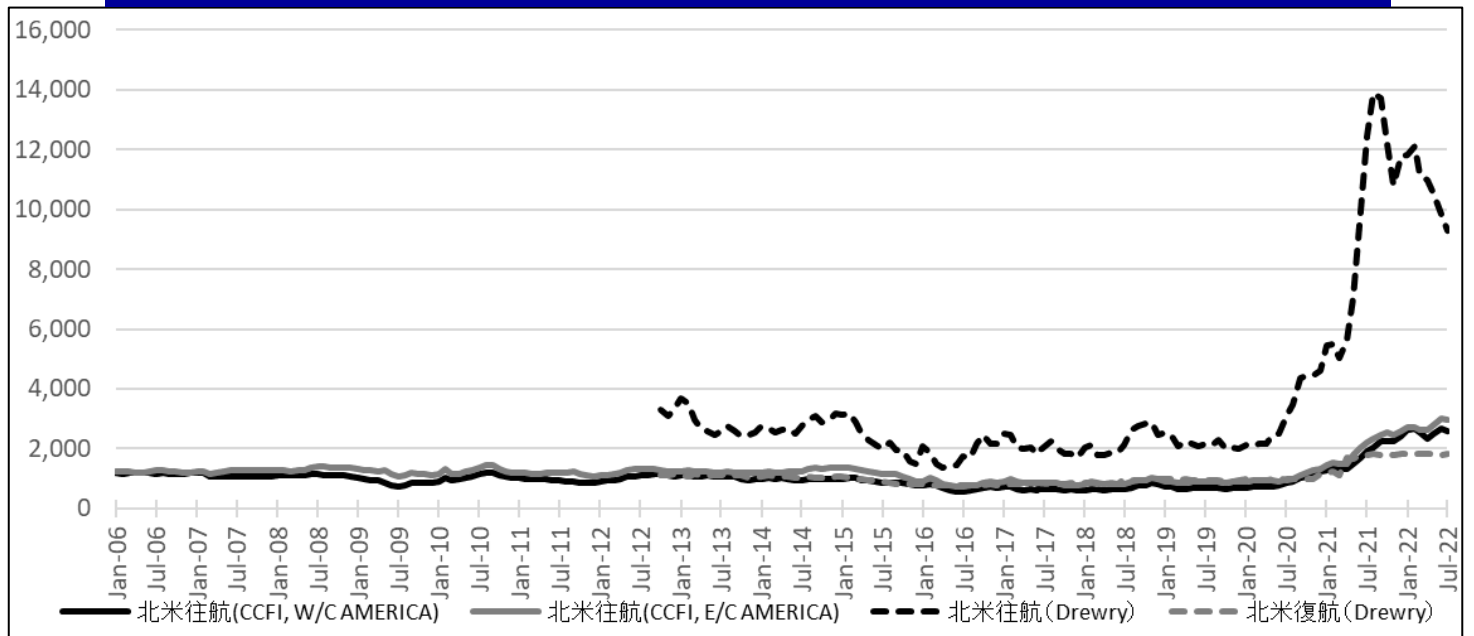
図-3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移（単位：トン）



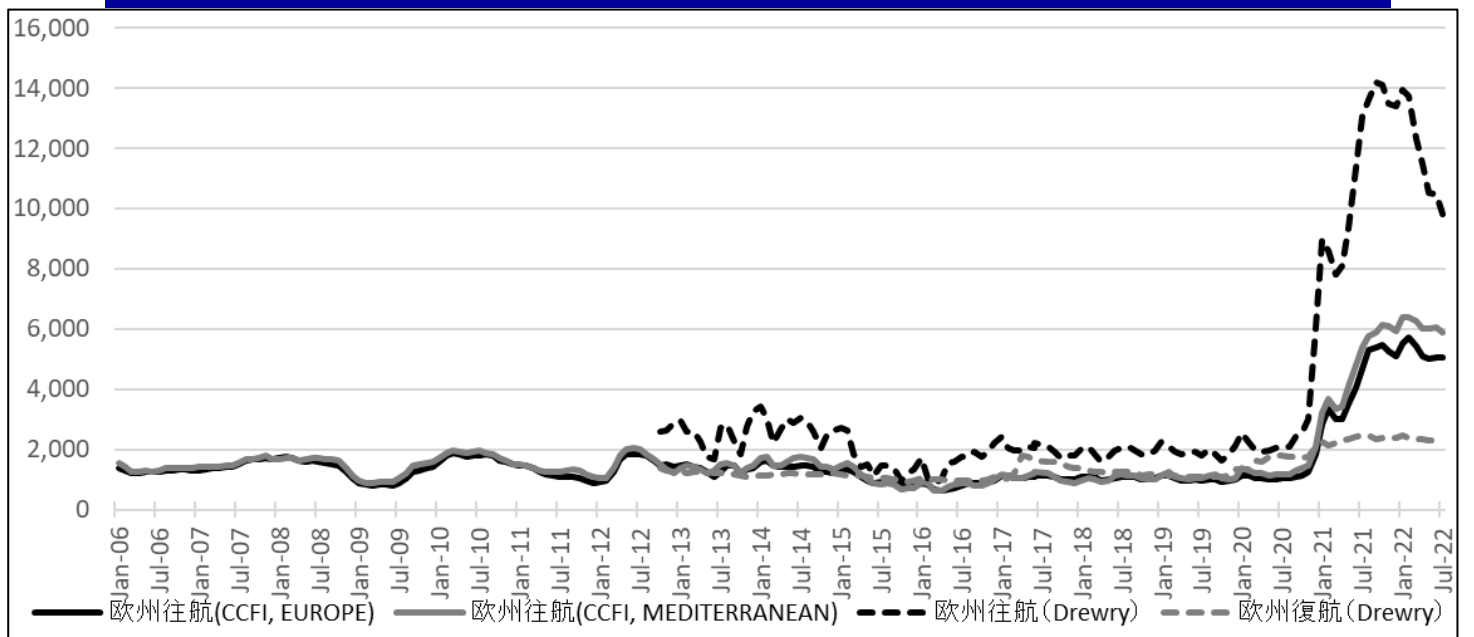
図－４ アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移（単位：TEU）



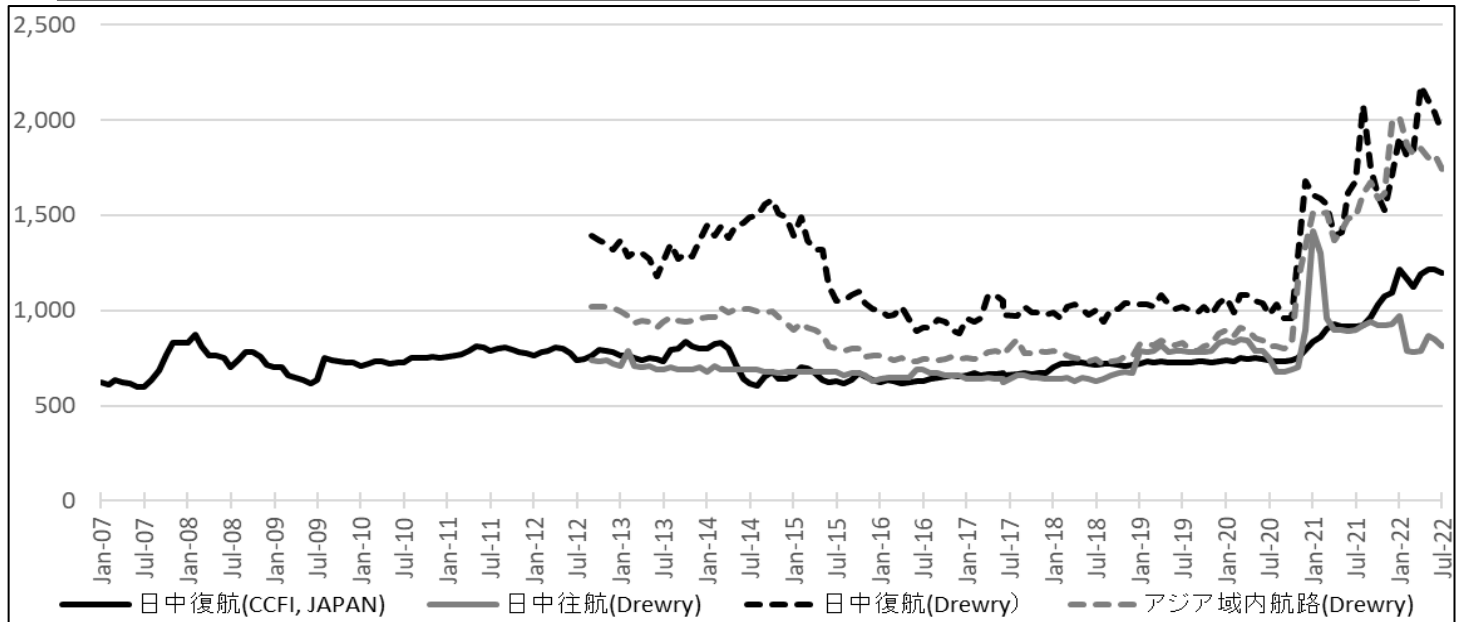
図－５ 北米航路における運賃指数の推移（単位：指数（CCFI）、US\$/40ft（Drewry））



図－６ 欧州航路における運賃指数の推移（単位：指数（CCFI）、US\$/40ft（Drewry））



図－7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移（単位：指数（CCFI）、US\$/40ft（Drewry））



（参考） 輸送量・運賃データの出所

- 1.北米航路輸送量
 - ・ PIERS（Port Import/Export Reporting Service）データ（IHS Markit）
- 2.欧州航路輸送量
 - ・ Container Trades Statistics Ltd.（CTS社）
- 3.アジア域内航路輸送量
 - ・ Container Trades Statistics Ltd.（CTS社）、IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ
- 4.日中航路輸送量（トンベース）
 - ・（公財）日本海事センター企画研究部（注：財務省貿易統計に基づきトンベースで推計）
- 5.北米航路、欧州航路運賃指数（Drewry）
 - ・ Drewry “Container Freight Rate Insight”
 - 北米往航：Transpacific EB Rate Index (US\$/40ft)
 - 北米復航：Transpacific WB Rate Index (US\$/40ft)
 - 欧州往航：Asia-Europe WB Rate Index (US\$/40ft)
 - 欧州復航：Asia-Europe EB Rate Index (US\$/40ft)
- 6.北米航路、欧州航路運賃指数（CCFI）
 - ・ 上海航運交易所 <https://en.sse.net.cn/home>
- 7.アジア域内航路運賃指数
 - ・ Drewry “Container Freight Rate Insight”：Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/40ft)
- 8.日中航路運賃指数
 - ・ 上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数（CCFI）
 - ・ Drewry “Container Freight Rate Insight”（中国（上海）と日本（横浜）間の運賃）
- 9.BDI（バルチック海運指数）
 - ・ Clarkson Research “Shipping Intelligence Network”
- 10.円ドルレート
 - ・ FRB ウェブサイト <https://www.federalreserve.gov/data.htm>